



2017年10月2～4日には、国内外にプロジェクトの始動を表明することにもなる「気候変動ダウンスケーリング国際ワークショップ」を、海外から26名、国内から60名の研究者の参加を得て、つくば国際会議場で開催しました（写真）。また、2018年6月4～8日には、ホノルルのハワイ国際会議場で開催された「第15回アジア・大洋州地球科学会年次会合（AOGS 2018）」において、統合プログラムにかかわる2つのセッションを共催しました。

IPCCでは、2021～2022年に向けて「第6次評価報告書」の作成作業が始まっており、気候変動の予測および影響・適応の双方の分野において、本課題の成果を積極的にインプットし貢献したいと考えています。



国際ワークショップの集合写真（つくば国際会議場にて）

（地球環境・気候研究推進室長 鬼頭昭雄）